

◆ ne0ne 【TheMaster】 Project ◆

ファイナンス講座

『年収と幸福度の相関性』

Nagase.Y

免責事項

□著作権について

当電子書籍は著作権法で保護されている著作物です。使用に関しましては以下の点にご注意下さい。

- ・本電子書籍の著作権は、作者にあります。作者の書面による事前許可なく、本レポートの一部、または全部をインターネット上に公開すること、およびオークションサイトなどで転売することを禁じます。
- ・本電子書籍の一部、または全部をあらゆるデータ蓄積手段（印刷物、電子ファイル、ビデオ、DVD、およびその他電子メディアなど）により複製、流用および転載することを禁じます。

□使用許諾契約書

本契約は、本電子書籍をダウンロードした法人・個人（以下、甲とする）と作者（以下、乙とする）との間で合意した契約です。

本電子書籍を甲が受け取ることにより、甲と乙の間でこの契約は成立します。

第一条（目的）本契約は、本電子書籍に含まれる情報を、本契約に基づき、甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第二条（第三者への公開の禁止）本電子書籍に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。また、本レポートの内容は、秘匿性の高い内容であり、甲はその情報を乙との書面による事前許可を得ずにいかなる第三者にも公開することを禁じます。

第三条（損害賠償）甲が本規約の第二条の規定に違反した場合、本契約の解除にかかわらず、甲は乙に対し、違約金として、違反件数に金十万円を乗じた金額を支払うものとします。

経済的成功と時間的自由を求めるあなたへ



From Nagase.Y

永世です。

今回は、「年収」と「幸福度」にまつわる

トリビア的な、面白い話を

シェアしたいと思います。

◆幸福を求める人々◆



この世に生まれた誰もが、「幸せ」になりたいと望んでいます。

もちろん、「幸せの形」は人それぞれでしょう。

また、その「幸せ」も、「サイズ」「スケール」「スタイル」は、まさに千差万別です。

しかしながら、「幸せ」を望んでいることに異論のある方はいないはずです。

なぜならば、人間とは原理的に、常に

「自分にとっての『幸福』を追求しながら行動する」

ようになっていているからです。

リストカットや自殺、自虐なども、当然この『幸福追求』に含まれます。

はたから見てどれだけ『自暴自棄』な行動に見えても、

その根底には

『今の自分にとっては、この行動が最も幸福につながる』という

『判断』があるからこそ、その『行動』が生まれるのです。

したがって、人間の行動とは、常に『幸福追求』です。

『幸福追求』を自覚している/していないということは、ここでは関係ありません。

すべての人は、幸せを求めて行動する。

それが、これから話すことの前提となります。

◆「幸せになりたい」だけでは、「幸せになれない」◆



しかし。

ここで、一つ主張しておきたいことがあります。

それは

「幸せになりたい」だけでは、「幸せになれない」

ということです。

例えるなら…

「海外旅行に行きたい」だけでは

実際に旅行という「行動」に至らないのと同じことです。

「フランスに行きたい」

「アメリカに行きたい」

と、具体的に『定義付け』することで、初めてその『イメージ』が実現するのです。

幸福についても同じ。

『幸せになりたい』というのは、ただの願望に過ぎません。

そこで必要なのは…

◆幸せの定義付け◆



自分が『幸せ』と呼ぶものは何なのか。

その『定義』を行うことなのです。

つまりは、『自分が歩みたい人生』を『デザインする』ということ。

そのように具体化することで、初めて、そういった『幸せ』は
『現実化』する可能性を帶びてくるのです。

したがって、あなたがもしも『幸せになりたい』のであれば

『幸せになりたい』だけでは終わらないで下さい。

見つめるべきは、その先。

幸せになるにはどうすればよいのか？

…という視点まで、思考を進めてほしいのです。

そして今回の話は、

◆『幸せ』を実現するために、『お金』はどれくらい必要なのか？◆



というテーマについて

最新の統計学・経済学の観点から論じていきます。

このお話は、あなたの『人生設計』に

ダイナミックな影響をもたらすことになります。

あなたの未来を大きく改善する最新の知見のエッセンスを集約してお送りしますので、最後まで御覧ください。

少なくとも、あなたが『幸せ』を実感するために

必要な『お金』の基準を、統計学に基づいて

この講義で示していきたいと考えています。

◆ 「お金があれば幸せ」 ◆



「お金があれば幸せ」

という価値観について

あなたどのように考えるでしょうか。

「お金があれば幸せ」という価値観は

多くの場合、「賛否両論」が

分かれるテーマでもあります。

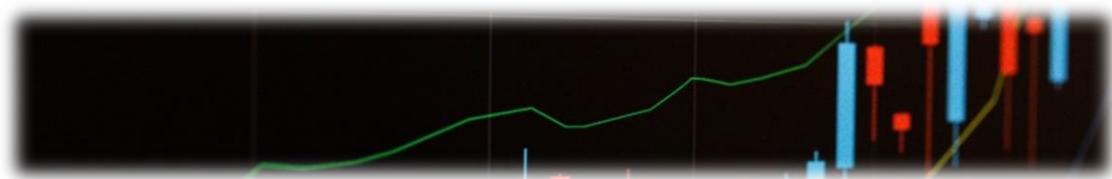
これは、ある根拠に基づいて検討するならば

「ある段階」までは「真実」で

「ある段階」からは「誤り」となります。

実際の統計学でも…

◆『「年収」と「幸福度」は「ある段階」までは比例する』◆



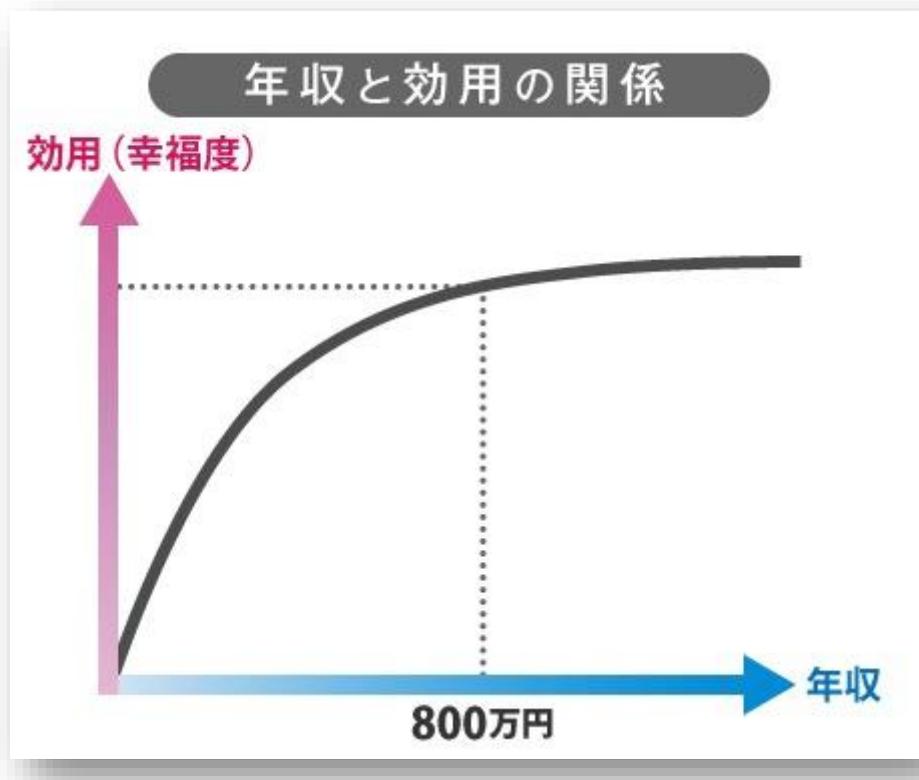
『「年収」と「幸福度」は「ある段階」までは比例する』

と言われています。

その「ある段階」とは？

ダイアモンドオンラインの出した統計によると

具体的な数字は、「約 800 万円～900 万円」だと言われています。



(引用) <https://diamond.jp/articles/-/141130>

(これは、一人あたりの数字です。

つまり、夫婦の場合は 1600 万円ということになります)

つまり、

「多くの人にとって、800 万円までは

年収と幸福度が比例する」ということについて

根拠のあるデータが出ているというわけです。

年収が上がり

約 800 万円に近づくにつれて

生活の満足度というのは比例して

上がっていくのです。

しかし…

年収 800 万円を超えた辺りから、年収が上がっても

幸福度は上がらなくなっています。

それは、何故なのか？

この内容をテーマに、少し考察してみたいと思います。

◆ 「年収 800 万円の壁」には何があるのか？◆



年収 800 万を越えてから、幸福度は上がらなくなる。

この数字の意味は、簡単です。

つまりは、

「年収 800 万円」を達成したら

「日常的な経済的ストレス」から

解放されるということです。

つまり、「お金によって手に入れられる幸せ」は

多くの場合「一人で年収 800 万円もあれば十分」

ということです。

逆に、それ以上のお金は

「あってもなくても大して変わらない」というのが

「一般的な経済感覚」ということですね。

したがって

「お金があれば幸せか？」

という疑問に対する回答としては

「年収 800 万円位までは

お金は幸せの『条件』である」

というのが

適切な回答となるのではないでしょか。

では、年収 800 万円とは

具体的にどのような

経済的スケールなのでしょうか。

年収 800 万円というのは、大雑把に言うと

月収 70 万円です。

生活費、家賃、など含めて

月に 70 万円ほどあれば

経済的ストレスのない暮らしができるというわけです。

◆年収 800 万円（月収 70 万円）を達成・安定すれば、お金の悩みは消える◆



つまり、個人で年収 800 万円（月収 70 万円）を

「継続」できるような収入源を構築することができれば

日常的なお金の悩みからは解放されるということ。

では、その「年収 800 万円（月収 70 万円）」の達成を

「現実的」に考えた場合

どうなるのでしょうか。

年収 800 万円というのは

日本の平均年収（約 300～400 万円）と比較しても

かなり高いです。

ということは、現代の多くの

サラリーマンと呼ばれる人々は

「お金において十分に満たされていない」

という言い方をすることできます。

なので、幸せになりたいという人がここに居て

もしその人が「年収 800 万円」以下であるとするならば…

手っ取り早く幸福度を上げるために

「まずは年収を増やす」というのが

「最短ルート」というわけです。

しかし…

◆年収 800 万～900 万の達成率に対する考察◆



お金のストレスがないレベルの

幸福度の高い暮らしを送るには

サラリーマンでの雇用形態に甘んじている限り

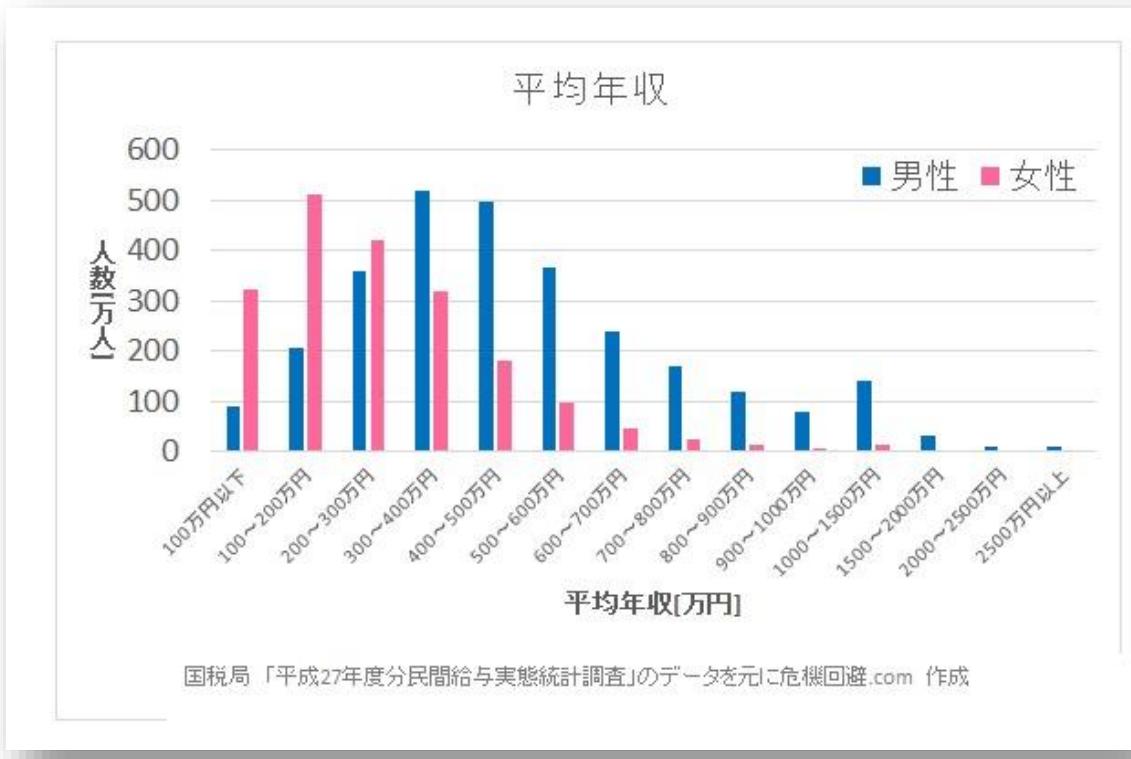
達成するのは「かなり」困難です。

※ちなみに、こちらのデータでは

「年収 900 万円以上の男性は

10 人に 1 人」

という統計が発表されています。



(引用) <http://kiki-kaihi.com/?p=2113#101900>

関連して、大企業の場合だと

5人に1人が年収900万円以上のようなですね。

年収800万円をサラリーマンという「本業」だけで

達成しようとするならば

多くの企業では役職や、役員クラスになることが

必要です。

つまり、「年収 800 万円以上」という世界は

それだけ「競争率」が高いということです。

◆複業の時代◆



そこで、多くの人が今

「副業」や「複業」といったものを探し求めています。

つまり「収入を上げる手段」として

「本業と両立しながら収入源を構築する」

ということに対して

世間的なニーズが

非常に高まっているような状態にあるというわけです。

「本業（安定労働収益）」+「副業（収入源の構築）」

というスタイルは、今や目新しいものではありません。

むしろ、先見性があり、情報リテラシーの高い
優秀なビジネスマンであるほどに
この副業という世界に強い関心を示しているというのが
実際のところです。

以前大流行した仮想通貨ブームなどは

その最たるものでしょう。

現代人の多くが「お金に困っている」
そして「収入源の構築に強い関心を抱いている」
ということはもはや「必然」なのです。

実際、私のもとにも
「収入源を構築したい」という悩みを持って
ご相談に訪れる方は非常に多いです。

そういう方に対する、私が提案できる最良の提案が「ネットビジネス」です。

◆ネットビジネスでは…◆

先程、サラリーマンで年収 800 万円は難しい
ということをお話しました。

だからこそ、情報レベルの高い人の多くが
新しい収入源の構築を求めて
ネットビジネスという世界に入ってきます。

なぜなら、ネットビジネスという世界では
年収 1000 万クラスなら
わりとゴロゴロ居るからです。

さらに、そこに至る上で
「才能」や「専門技術」や「資格」は
特に必要ないからです。

簡単に言えば
「押さえるべきポイントをしっかり押さえる」

ことさえできるなら、稼ぐこと自体は

さほど難しいものではありません。

「正しいノウハウ」

「正しい指導者」

のもとで

「正しく実践」していけば

「経済的成功」は現実になります。

つまり、「稼ぐ」ということに絞ってみた場合

敷居も高くはないし、才能も必要ない。

だからこそ、数多くの先見性のある人達が

「収入源」を求めて

日々ネットビジネスの世界に足を踏み入れています。

つまり…

◆始めるなら、早いほうが良い◆



始めるなら、早いほうが良い。

ということ。

これから、大企業に勤めていた

優秀な人間や、一流のビジネスマンが

自分の収入に物足りなさを感じて

ネットビジネスの世界に

参入してくることになるでしょう。

なぜなら、それだけ

「稼げている企業」が少ないから。

つまり、充分な給料を払える企業が

減っているということです。

そして、これからも

「減っていく」でしょう。

◆景気はこれからも悪化します◆



今でこそ景気が良くなっていると

さわがれていますが

これはオリンピックの前の特需に過ぎません。

もちろん、雇用が増えている分だけ

「失業率」は劇的なほど下がりました。

しかし、これも東京オリンピックが終われば

どうなるでしょうか…。

再び失業率は上がります。

そして、景気は再び下がっていくでしょう。

経済の専門家たちは揃って

「2020年以降、景気は再び下がる」

ということを言っています。

◆これからも上がる税率◆



そしてさらに、消費税は高くなっています。

なぜなら、日本は1000兆円の借金大国を抱えているからです。

(日本の年間国家予算が100兆円)

これを例えるなら

「3000万円の借金を抱えた、年収300万円の人」ということです。

言うまでもなく「ヤバい」状態にあるわけです。

もちろん、政府はこのような数字を表には出そうとしません。

各TV局も、さすがに、国民の不安を煽りすぎるので、あまり表沙汰にはなりません。

まあ、何が言いたいかというと

それくらい経済的に危険な島国の上に住んでいるんだということを

認識して頂きたいということです。

当然ですが、その国の中で語られる「安定」という言葉は

もはや「神話」を通り越して「冗談」としか言いようがありません。

もう、経済的にはすでに「末期」ということ。

そして、そんな状態をなんとなく察して、「経済的自立」を望む人たちは、すでに自らの意思で動き始めています。

要するに、みんな知らないだけで…

すでに生存競争は、日本の水面下では始まっているのだ、ということです。

もう…

◆「生き残りをかけたサバイバル」はとっくに始まっています◆



それが、前代未聞の「副業ブーム」ということ。

ne0ne 『年収と幸福度の相関性』

(海外では当たり前ですので、むしろ日本が遅れているのですが…)

そしてその副業において、私が最も推奨できるビジネスこそが、ネットビジネス、となります。

実際に、本業と両立しながら、大きな利益を仕組み任せに出していく、非常に素晴らしい可能性を秘めたビジネスです。

そのネットビジネスを始めるタイミングが

「遅い」ということは、全くありません。

なぜならば、これからも

沢山の人がこの業界に参入してくることは

目に見えているからです。

つまり、まだまだ

「これから」の市場であるということです。

では、その市場の中で

勝ち上がっていきためには

何が必要なのでしょうか？

◆勝ち続けるメンター◆



そのために必要なのが

「勝ち方」を知っている

指導者の存在、ということになります。

私が今のようなステージにまで

一直線に登ることが出来たのは

ひとえに、最先端でトップクラスの収入をかせぎ続ける

私のメンター達から、直接手取り足取りで

ネットビジネスを教わってきたからです。

普遍的かつ継続的なアフィリエイト戦略。

少なくとも、それさえマスターしておけば

生涯に渡って食いっぱぐれるコトは

「無い」わけです。

実際に、私がそのビジネス戦略に基づいて

メディアを作り続けた結果

月収で200万円を超えるまでに要したのはたったの4ヶ月。

意外と容易でした。

そして、それだけの金額があれば

「一般的な生活水準」で

「経済的ストレス」を感じることは

まず無くなるわけです。

そこに、「自動化」が軌道に乗ることで

時間の自由までも得ることが出来たら

まさに理想的な状態と

言えるのでは無いでしょうか。

◆話をまとめます◆



もしもあなたが

「幸福度を高めたい」のであり、

なおかつ

「年収 800 万円以下」であるとするならば

「年収 800 万円を、どう達成するか」

という思考に切り替えるのが

統計学的にも「合理的」な思考であると言えます。

そして、その手段こそが…

◆年収 800 万円の手段◆



そして、その手段として

私が選んだのが「ネットビジネス」

であるということをお話しました。

そして、この「ネットビジネス」には

これからも数多くの収入源を求める人達が

参入してくるということ。

なぜならサラリーマンという「本業」だけで
年収 800 万円（＝充分な経済的成功）を
達成するのは「困難」だからです。

逆に、ネットビジネスならば
年収 800 万円というスケールの成功は
充分に「現実的」です。

そして…

もしネットビジネスを始めるなら

- ・いつから学ぶのか
- ・誰から学ぶのか
- ・何を学ぶのか

ということが大切になってきます。

その三点については
大いに迷うところではないかと思います。

なので、その「参考」までに、かつての私の考え方を
一例として示しておきたいと思います。

◆かつての私は、こう考えました◆



私がネットビジネスを実践するに当たって、この「三つの問」に対峙しました。

その問とは…

【問題】いつから学ぶのか？

【問題】誰から学ぶのか？

【問題】何を学ぶのか

この三つです。

この三つの問に対して、私の出した答えは、下記の通りでした。

【問題】いつから学ぶのか？

【結論】一秒でも早いほうが良い。

なぜなら、自分の人生の時間は有限であるから。

後悔しない人生を送りたいから。

さらに、早いほうが「有利」であるから。

【問題】誰から学ぶのか？

【結論】現役で稼いでいてなおかつ「稼がせている」という

実績のある人物をメンター（指導者）にすべきである。

【問題】何を学ぶのか

【結論】初心者であるならば、今後大きく稼ぐための、自己投資の経済的な土台を作るために、とにかく結果が早く出るノウハウを学び、実践してすぐさま稼ぎ始めるべきである

以上、三つの答え。

以上のことと検討して、私はメンターの門戸をくぐり

一世一代の覚悟で、ネットビジネスの継承を受け

その実践を開始したのでした。

そして 4 ヶ月で稼いだ金額が、303 万円。

さらに、私がたどってきた「道」を

私の後に続く方々へ示すということを

これから行っていきたいと考えています。

それが、今月中に解禁しようと考えている

NOA- Ne0ne Online Academy - という企画です。

● 今月開始の企画案内

この企画の募集で

私は「経済的利益を分かち合う仲間」を

真剣に集めたいと思っています。

そして、この企画がいざ始動し始めたときには

その「仲間」の育成に全力を注ぎます。

その指導期間中、新しい仲間を受け入れる物理的余裕は

おそらく存在しないでしょう。

つまり、しばらくの間

再募集をかけられない可能性が

極めて高いということです。

私が現実的に「月収 10 万円～200 万円」の世界へと

連れていく「人数」には

「限界」があります。

なので、人数限定の企画となります。

このチャンスに対して、どう対峙するか

ぜひ「慎重」に判断していただきたいと思います。

少なくとも、あなたが今日の前にしている

「収入を増やす手段」の選択肢の中では

間違いなく「最高」のものであるという

絶対的な自信がございますので。

参考までに、私永世なりの人生哲学…

「正しい選択」についての考察記事をシェアさせていただきます。

- 現在は『選択』の結果であり、未来は『選択』が作るという話。...と、ご案内

少なくとも、「予約」だけは

こちらから無料で出来ますので

ぜひご一覧頂ければと思います。

それでは。

なお、本マニュアルについてのお問い合わせはこちらにお寄せ下さい。

☞ Writer: 永世 豊-nagase yutaka-

✉ Mail: n0ne@ne0ne.com

あらゆる偉業は作業から。

あなたの成功と、その先にある幸福を願って。

Nagase.Y
